2014年（平成26年）3月9日（日）読売新聞

日本e－Learning大賞

タオ（草津）最優秀賞

教材ソフト会社

成績の分析機能など評価

乳幼児から高校生まで利用できるパソコン用の教育ソフト「天神」を販売する草津市大路のソフト開発会社「タオ」（井内良三社長）が、電子教材を取り扱う企業や団体を表彰する「第10回日本e－Learning（イーラーニング）大賞」で最優秀賞に選ばれた。

井内社長は1992年にタオを創業。社員の啓発にパソコン上のキャラクターと共にあいさつや体操を行うソフトを開発するなど、朝礼を生かしたユニークな社風も持つ。

「天神」の開発に創業から取り組み、現在は乳幼児版、小中学生版、高校生版があり、全教科に対応した教材をそろえた。問題を間違えると簡単な問題に戻って復習を促し、日替わりで世界の歴史上の人物を紹介する「偉人の部屋」など、内容を充実させた。

同賞は文部科学省や経済産業省も後援。学習スケジュールの管理や成績の分析など、様々な機能を持つ点などが評価されたといい、昨年11月に受賞した。

2月25日に県庁で嘉田知事に受賞を報告した井内社長は、「天神」を実演しながら、「22年の成果が実りとてもうれしい」と笑顔。嘉田知事も「大変な労力で開発したのは見事」とたたえていた。

（小野圭二郎）

沿道の遺跡群も魅力